
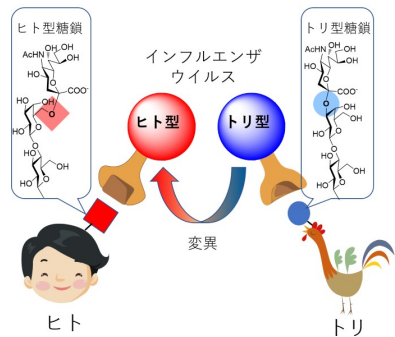



ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

研究機関名	北海道大学				
プログラム名	生命科学の最先端(糖鎖のヒミツをのぞいてみよう)				
先生(代表者)	比能 洋(ひのうひろし)・先端生命科学研究院・教授				
自己紹介	生命とは何か?このシンプルな問いかけに立ち向かう、最先端の科研費研究成果の体験プログラムです。本プログラムの代表者は「糖鎖」の謎の解明に取り組んでいます。インフルエンザの感染、鳥インフルエンザと人インフルエンザの違い、O157、血液型、癌検診:これらはいずれも糖鎖が深く関わっています。代表者の開発したマイクロアレイ技術等を介して教科書では見つかからない糖鎖の謎の世界を覗いてみませんか?				
開催日時・募集対象	令和2年9月22日(火)	受講対象者	中学生・高校生	募集人数	100名 (午前50名、午後50名)
集合場所・時間	オンライン(Zoom)	(集合時間)	午前の部 9:15、 午後の部 13:15		
開催会場	応募時にいただいたメールアドレスにZoomアカウントをお知らせいたします。				
内 容					
<p>生命とは何か?その素朴で壮大な疑問に答えるためには物理と化学の知識と知恵を生物(生命科学)に取り込んで様々な切り口で一つ一つの謎を解き明かしていく必要があります。研究代表者は「生命」の謎を探求するための切り口として糖鎖に着目し、「化学」技術を基盤として物理・生物・機械工学・情報科学など様々な知識と知恵を駆使した研究を展開しています。「化学」は肉眼では見えない「分子」レベルの違いから物事を考える学問です。それが生命の表現型である「生物」、その動きや性質を理解するうえで欠かせない「物理」などと融合することにより、一分野の知識と知恵では見えてこない様々な切り口が駆使できるようになります。このプログラムでは代表者が実施しているこのような糖鎖研究の最前線を知り、それを実現する生命科学の最先端研究現場を理学部生物科学科高分子機能学の面々と共に体験していただきます。</p>			<p style="text-align: center;">糖鎖とインフルエンザ</p> 		
持ち物		特記事項			
PC、タブレット、スマートホン等のネットワーク受講環境		<p>本プログラムは連休の最終日に実施予定です。</p> <p>動画配信プログラムを3時間以上受講可能な、オンライン環境が必要です。</p> <p>以下のサイトよりご応募ください。(〆切9月20日、先着順) https://www.jsps.go.jp/hirameki/02_jisshi_program.html</p> 			

スケジュール

午前の部（約3時間）

- 9:15- 9:30 Zoomによるオンライン開錠集合・接続テスト(音声およびチャット機能)
- 9:30- 9:40 挨拶・ひらめきときめきサイエンスおよび科研費についての説明
- 9:40-10:30 研究代表者による糖鎖研究に関する講演会(50分)
- 10:30-10:45 チャットタイム・休憩
- 10:45-11:15 マイクロアレイによる糖鎖-レクチン相互解析のデモ
- 11:15-11:45 質疑応答および交流会(北大生および北大院生との交流)
- 11:45-12:00 オンデマンド体験実験の紹介(6テーマ)
- 12:00 閉会の挨拶

午後の部（約3時間）

- 13:15-13:30 Zoomによるオンライン開錠集合・接続テスト(音声およびチャット機能)
- 13:30-13:40 挨拶・ひらめきときめきサイエンスおよび科研費についての説明
- 13:40-14:30 研究代表者による糖鎖研究に関する講演会(50分)
- 14:30-14:45 チャットタイム・休憩
- 14:45-15:15 マイクロアレイによる糖鎖-レクチン相互解析のデモ
- 15:15-15:45 質疑応答および交流会(北大生および北大院生との交流)
- 15:45-16:00 オンデマンド体験実験の紹介(6テーマ)
- 16:00 閉会の挨拶